１-5．パラグラフ・ライティング～(パラグラフ内の構造)

論文やレポートなどの論理的な文章を書くための世界標準の文章技法であるパラグラフ・ライティングを学習します。

まずは，次の文章（レポートの一部）を読んでください。

> 中国や東南アジアでは，竹は高さ 100ｍを超えるビルの建築現場でも足場の材料として用いられる。これは，乾燥させると十分な強さと軽さがあるためである。また，形が円柱状で中空である特徴を使って，節を抜いてパイプ状にしたものを，笛などの楽器に用いられることもある。その葉を食物としている動物も多く，主食としている動物の代表にはジャイアントパンダがあげられる。竹の若いものはタケノコと呼ばれ，日本を含めアジアでは広く料理に用いられている。このように竹は多目的に利用される植物である。

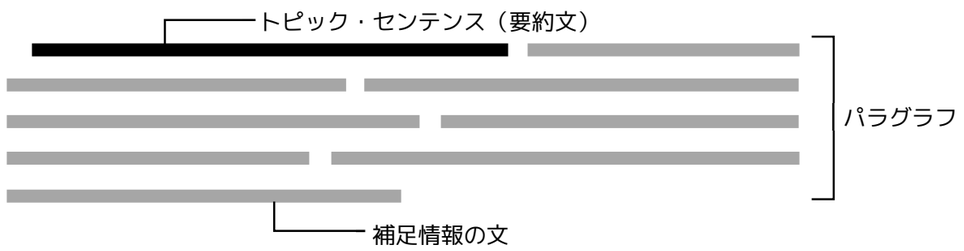
この文章を読んでどのように感じましたか。一部論理的に不適切な部分もありますが，たぶん多くの人が違和感なく読めたのではないでしょうか。しかし，このような文章は，欧米人には「何が言いたいのかわからない」と感じられるようです。では、どのように表現すれば良いでしょうか？

①パラグラフとは

（１）パラグラフの定義

パラグラフとは，１つのトピックを説明したセンテンス（文）の集まりのことです。

パラグラフは，原則として，１つのトピック・センテンス（要約文）と，複数の補足情報の文で構成します（下図参照）。



（２）パラグラフと段落とは違う

論文やレポートなどのパラグラフには，１つのトピックを述べるという決まりがあります。手紙や小説などの段落には，そのような明確な決まりはありません。さらに，パラグラフには，トピック・センテンス（要約文）という概念があります。段落の中で一つの内容のまとまりを表す意味段落であればパラグラフに近いといえます。しかし，意味段落には，トピック・センテンスという概念は明確にはありません。ここが，パラグラフと意味段落の異なるポイントです。

次の２つの文章は，いずれもアフリカにあるバオバブという木について書いたものです。さて，**【例１】**と**【例２】**のどちらが良い文章でしょうか。グループ内で，どちらの例が良いのかと，そう判断する理由を考えてみよう。

> **【例１】**
> バオバブは多目的に使われる木である。西アフリカでは，幹の下の方の樹皮がはがれたバオバブの木をよく見かけるが，これは現地の人たちがバオバブの皮をはいでロープにしているためである。また，バオバブの葉は食用となり，緑色のソースを作るのに使われている。そして実はビタミンＣが豊富で，種子の周りについた部分を水に溶かし，砂糖を加えた飲み物が売られている。

> **【例２】**
> バオバブはアフリカ大陸には１種類だけが分布しているが，マダガスカルにはさらに７種，そしてオーストラリアには２種が分布している。バオバブの不思議な形はあちらこちらで神話や伝説を生み，サン＝テグジュペリの有名な小説，『星の王子様』にも登場する。そしてバオバブは樹皮がロープに，葉は野菜として，そして実は飲料に用いられている。

●良いのは＿＿＿＿＿＿

●その理由（「例○は△△であるが，例◇は××であるので」のように答えよう）

▲星の王子様に出てくるバオバブの木（右）

１年（　　）組（　　）番　　氏名

②パラグラフ内の構造とセンテンス

パラグラフ・ライティングを書く上で重要なパラグラフ内の構造を学んでいこう。

① **パラグラフは，原則として，１つのトピック・センテンス（要約文）と，複数の補足情報の文で構成する。**
② **パラグラフの構造の中で特に重要なのは，トピック・センテンスとセンテンスどうしのつながり。**

（１）トピック・センテンス

トピック・センテンスは，パラグラフの中に書かれているトピック（主題）を一文で表すものです。前ページの**【例１】**であれば，文頭にある「バオバブは多目的に使われる木である。」という文章がトピック・センテンスであり，このパラグラフでいいたいことを一文でまとめたセンテンスになっています。

トピック・センテンスはパラグラフの最初に置かれます。【例１】であれば，「バオバブの用途は多目的」というアイデアをあらかじめ提示し，その後で具体的にどのように多目的かを説明しています。つまり，パラグラフで何をいいたいのかを先に宣言しておいて，その後ろに補足をつけるわけです。トピック・センテンスがパラグラフの先頭にあると，パラグラフの先頭だけを読んでいけば論文の意味がつかめるようになります。したがって，パラグラフ・ライティングで書かれた文章は，速読が可能です。

トピック・センテンスを最初に置かないと，パラグラフで何をいいたいのかがわかりにくくなります。次の**【例１´】**は，**【例１】**の文の順序を入れ替え，トピック・センテンスを最後にもってきたものです。**【例１´】**では，最後まで読まないと，そのトピックがわかりません。

【例１´】

西アフリカでは，幹の下の方の樹皮がはがれたバオバブの木をよく見かけるが，これは現地の人たちがバオバブの皮をはいでロープにしているためである。また，バオバブの葉は食用となり，緑色のソースを作るのに使われている。そして実はビタミンＣが豊富で，種子の周りについた部分を水に溶かし，砂糖を加えた飲み物が売られている。このようにバオバブは多目的に使われる木である。

（２）セカンド・センテンス

セカンド・センテンスは，トピック・センテンスを受けて，次にくるサポーティング・センテンスへとスムーズにつなぐ役割をします。

（３）サポーティング・センテンス

サポーティング・センテンスは，トピック・センテンスを意味的に補強するための，時系列的に並ぶものや，因果関係などの一貫性をもったいくつかのセンテンスです。

（４）コンクルーディング・センテンス

コンクルーディング・センテンスは，通常パラグラフの最後に置かれるまとめのセンテンスです。コンクルーディング・センテンスの使い方は，パラグラフの内容を要約することです。一般論として，コンクルーディング・センテンスをつけるほうが，そのパラグラフの説得性が増し，また次のパラグラフへとつなげやすくなります。

コンクルーディング・センテンスは省略可能な場合もあります。パラグラフは，小さなブロックです。トピック・センテンスで既に結論的なことが示されている場合，またすぐにコンクルーディング・センテンスで同じことを繰り返す必要はなく，その場合にはコンクルーディング・センテンスを省略してもかまいません。すでに説明したトピック・センテンスの位置や用法は守るべきルールといってよいですが，コンクルーディング・センテンスの使用は，パラグラフごとに，その都度の判断によります。

以下の**【例３】**は**【例１】**にセカンド・センテンスとコンクルーディング・センテンスを加えたものです。

【例３】

バオバブは多目的に使われる木である。バオバブがどのように利用されているかをみてみよう。西アフリカでは，幹の下の方の樹皮がはがれたバオバブの木をよく見かけるが，これは現地の人たちがバオバブの皮をはいでロープにしているためである。また，バオバブの葉は食用となり，緑色のソースを作るのに使われている。そして実はビタミンＣが豊富で，種子の周りについた部分を水に溶かし，砂糖を加えた飲み物が売られている。皆さんも，アフリカを訪れたらバオバブにどのような用途があるか調べてみよう。

コンクルーディング・センテンス

練習問題

前ページの**【例２】**は，パラグラフの中でいいたい主題（トピック）がいったい何であるのかがわからず，論文・レポートの中のパラグラフとしては不適切でした。**【例２】**の，バオバブの種類と分布に着目して，パラグラフを書き直してみよう。なお，トピック・センテンスは，「バオバブはユニークな分布をしている」とします。

【予備知識】（取捨選択して利用してください）

- 全世界には 10 種類のバオバブがある。
- ８種類はマダガスカルに分布。そのうちの１種類はアフリカ大陸にも分布。
- マダガスカルの正式名称は，マダガスカル共和国であり，アフリカのインド洋に浮かぶマダガスカル島を領土としている。
- アフリカ大陸は広大であるにも関わらず，１種類のバオバブしか存在しない。
- アフリカでは，バオバブはロープづくりや食用など多目的に利用される。
- アフリカには樹皮がはがれたバオバブの木がある。
- アフリカを代表する木と思われているバオバブは２種類がオーストラリアに分布している。
- このような分布をする樹木の属は，バオバブ以外にはほとんど例がない。

１年（　　）組（　　）番　　氏名